

Aichi Soseido Press

2012.08

日本相生道協会愛知県支部から皆様に、旬のニュースをお届けします。

平成 24 年度夏季合同合宿

2012年8月9日から12日にかけて長野県某所で、南山大学相生道部と多摩美術大学相生道部の合同合宿が開催されました。相生道協会本院から代表範士をお招きして、濃密な稽古と昇級審査をおこないました。



夏の合宿は二つの大学の相生道部が合同で主催するものです。今年は両大学とも多くの新生を迎え、参加人数は初日の時点で40人にもなりました。

また昇級審査の受験者以外にも、強化稽古に参加する拳士も増え、途中参加のOBが加わった三・四日目は参加者総数が50名を越し、道場からあふれるほどでした。

初日は全体稽古と級別稽古、そして学科試験です。相生道では、学科と実技は両輪であってどちらもおろそかにできない、と考えます。源流である天武無鬪流に代々伝わった口伝を佐々木武久師範が整理した『斯道の教え』から、それぞれの級に適した項目を全文暗記して答案用紙に記述します。なお、昇級審査では作文の課題もあります。



合宿二日目は朝から晩まで稽古です。ダウしないように健康管理が寛容です。

実技審査は三日目の午後。これまでに培った術技を展開し、課せられた課題に挑みます。六級受験者は数が多く三組に分かれました。そして上級生の審査になると、下級生はその迫力に息を呑みます。

(合宿の記事は来月に続きます)

発行：日本相生道協会愛知県支部 (<http://www.soseido.org/>) 文責：杉山元康